

## まちづくり審議会が 設置されました

均衡のとれた町の発展を目指し、また、町民の皆さんと行政のパートナーシップによるまちづくりを推進するため、那珂川町まちづくり審議会が6月に設置されました。審議会委員は、地域を代表する方6名、町民活動団体を代表する方6名、識見を有する方4名、公募による方4名の計20名で構成され、2年間、新たなまちづくりのため、町の諮問などに応じ意見を述べていただくこととなります。

早速、6月8日に第1回審議会が開催され、正副会長を選出後、町から諮問があった振興計画基本構想と過疎地域自立促進計画について協議を行い、6月15日開催の第2回審議会で見解を付けたうえ、妥当であるとの答申を行いました。また、今後もまちづくりのために会議を重ねることとなりました。



審議会委員の皆さん(敬称略)

◎大金 進 ○森 和子

鈴木 功 小高忠夫

和泉隆夫 石川 和

瀧田敏夫 川上幸男

木村美津子 金子一哉

福嶋 正 奈良順一

國安隆夫 塩沢雄二

岡 一也 亀田 昇

山沢文子 松井幹彦

梶原良成 吉澤通夫

◎は会長 ○は副会長



英語指導助手  
ローレル・ディエツ

### バイバイ、那珂川町!

私が来町したのは1年前、

真夏の蒸し暑い、まさしく酷暑の時期でした。初めて覚えた日本語は「暑いですね!」でした。去年はカナダのオタワ市でも熱波があって、気温も湿度も日本の東北と同様でした。多くの日本人が夏の暑さに参っていたことに、私は驚きました。日本は高温多湿の国と聞いていましたので、覚悟をして来日しましたが、地元のカナダと変わりませんでした。私はさほど暑くありませんでしたが、なぜ皆さんが「暑いですね!」を言っているのかと思いました。

しかしながら、私も今年の夏が近づくとつれて、空気の重み、または雲が流れ去った後の酷暑を感じます。カナダでは気温が少しずつ上がるので、体が暑さに徐々に慣れていきます。日本では涼しい天

気が続いた後、突然に気温が上がり、暑く、暑く、暑くなり、ます。やはり、私は雪と氷の子であり、猛暑を恐れています。私はこの両極端な天候の中で1年間の日本生活を終えます。

過去1年間は初体験の旋風のようなでしたが、もうすぐ終わるとは信じられません。なぜ、私が日本をすぐに離れるのかと多くの方に尋ねられ、滞在を楽しまなかったかと心配されているそうです。その心配について、私は「日本の生活を楽しまなかったのではなく、1年間の滞在を非常に満足しているからこそ日本を離れる」と答えます。

この仕事を始めた小川地区では幼稚園から中学校まで全ての教育施設で教えることができました。全ての教育段階で児童生徒に教えることができ、日本の学校教育を理解することができました。登下校中の児童生徒は笑顔と手振りで「ハロー、ローレルさん」のあいさつをしてくれます。これには心が温まります。

4月に始まった新学年、私の仕事は少し変わりました。

合併で生まれた那珂川町の中学校のみを巡回することになりました。馬頭中学校と馬頭東中学校を新たに訪問する私は少し緊張していましたが、心配する必要はありませんでした。馬頭地区の生徒は小川地区の生徒と同じように、私に会うことを楽しみにしていて、たくさん質問と笑顔で迎えてくれました。私はすぐに新しい学校訪問に慣れて、毎朝学校に行くことを楽しみにしています。

日本を離れ、私は日本食が恋しくなるのは間違いないです。帰国したら、寿司を頻繁に食べることができなくなり、そばやラーメンを食べる機会も少なくなり、豆腐さえ見つけにくくなります。しかし、納豆には一切恋しくありません!

帰国日が目前に近づいてきて、もうそろそろあいさつ回りが始まり、荷造りをし、道の駅で最後のアイスクリームを食べに行きます。町民の皆さん、1年間、大変お世話になりました。ありがとうございました。最後に、夏の猛暑に声を上げましょう!暑いね!



## 知っておきたい食品衛生

### — 食中毒の予防 —

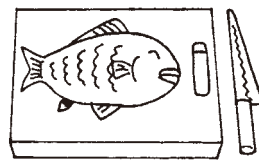
食中毒を起こす菌は、私たちの身の回りのあらゆるところに潜み、ちょっとした不衛生を狙って、感染のすきをかかっています。高温多湿の気候が食中毒の大きな原因にもなっています。これからの時期、毎日の生活の中で食中毒の予防を心がけましょう。



### 食中毒の種類

- 細菌によるもの  
魚介類や手指の化膿巣等
- 自然毒によるもの  
フグ毒・毒キノコ等
- 化学物質によるもの  
油脂の腐敗等

食中毒を引き起こす原因食品は、腐敗して臭いを発したり、糸を引くなど、外見上に変化があれば気づくのですが、細菌の繁殖は、見た目ではわかりません。また、栃木県はキノコ類による食中毒も多く発生していますので、十分に注意しましょう。



### いつが多いか

ピークは7月から9月で、気温の高い時期に多く発生しています。しかし1月から2月の寒い時期にも発生しています。これは暖房設備の普及で、冬でも室内が暖かいため、細菌による食中毒が発生するようになっていきます。

### どこで起きるか

飲食店、家庭、旅館の順に多く発生しています。家庭でも発生しているので、食品等の衛生管理を十分にすることが大切です。

### 食中毒が疑われるとき

食後しばらくして、吐き気や腹痛、下痢などの胃腸炎症状が起こったら、食中毒の可能性があります。同じ食事をした人に同様の症状があれば、食中毒の確立が高くなります。素人判断で、下痢止めや胃腸薬は服用しないで、直ちに医師の診察を受けましょう。

特に、乳幼児や高齢者は、少量の菌でも発症し、重症化しやすいので、一刻も早く診てもらいましょう。



### 食中毒予防のポイント

- 「清潔」食品を清潔で衛生的に扱う
- 食品や手、調理器具はよく洗う。
- 「迅速」応菌が増える前に処理する
- 作った料理は早めに食べる。
- 冷蔵庫を過信しない。
- 「温度」食品は加熱または冷却する
- 食品の中心部まで十分加熱する。

大山田保育園は、昭和48年、旧馬頭町として2番目に開所しました。

園の庭は、樹齢30余年の桜の木が周りを囲んでいます。保育園の庭は春から初夏にかけて、桜や藤の花など、季節の花に囲まれ、山ではウグイスが伸びやかな声で鳴いています。



歳児、6月には4歳児もお茶が点てられるようになりました。

園児は、登園してから9時半までと午後3時半からお迎えまでは庭で好きな遊びをします。遊具はもちろん、カエルやアリやクワガタ取り(園の庭には、大きなアリと小さなカエルがいます)、タイヤ飛び、かけっこ、片足で漕ぐ三輪車や二輪車押しなど、毎日遊びに夢中です。

体操の後、10時過ぎは、クラスごとにお絵描きや工作・粘土遊び・ゲームなどを行います。

遠足、夏祭り、運動会、お遊戯会、クリスマス会、豆まきやもちつき会等、保育園の行事は盛り沢山です。

4月には、新しい7人のお友だちを迎えました。今年のお園児の総数は、「さくら組」14人と、「うめ組」13人の合計27人です。

桜吹雪の中、塚原みゑ先生のご指導で野点を行い、茶道を体験しました。5月には5

那珂川町の保育目標「元氣な子」・「あいさつのできる子」・「思いやりのある子」と年齢別保育目標を基本に、伸び伸びとした、健やかなやさしい子にと職員一同念願して保育に当たっております。